2023年度
第3四半期累計業績

タケダのデング熱ワクチンが発売されている国

21ヵ国

流行国 **4**ヵ国を含む

2024年2月1日現在

米国食品医薬品局（FDA）より

2 製品に対する新薬承認取得

第3四半期に入って以降、**ライフ・サイクル・マネジメントの観点での承認を複数**取得

売上収益

3兆2,129億円

恒常為替レート（CER）ベースで横ばい
実勢レート（AER）ベースで+4.6%

2023年度第3四半期累計業績

Core営業利益

8,656億円

△9.3%の減少（実勢レートベース）、
△12.7%の減少（CERベース）は、
後発品参入による影響、新型コロナ
ウイルスワクチンの減収、
研究開発およびデータ・デジタル&
テクノロジーへの投資の増加を反映

Core営業利益率

26.9%

財務ベース営業利益

2,241億円

非資金性の無形資産減損損失
が影響し、△44.2%の減少
（実勢レートベース）

成長製品・新製品が売上収益の伸長を引き続き、力強く牽引

43%

売上収益全体に占める割合

+12.7%

CERベースの成長

2023年度の見通し

Core売上収益

3兆9,800億円

Core営業利益

1兆150億円

Core EPS

447円

マネジメントガイダンス（CERベース）の達成に向けて想定通りに推移

Core売上収益

1桁台前半%の減少

Core営業利益

10%台前半の減少

Core EPS

20%台前半の減少

本プレゼンテーションには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。重要な注意文言を含む、当社の将来に関する見通し情報に関する詳細については、当社の2023年度第3四半期決算の投資家向けプレゼンテーション（https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/）をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減は、当期の財務ベースの業績もしくはCore業績について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

Core売上収益、Core営業利益、Core営業利益率、Core EPS、CERベースの増減、純有利子負債、調整後EBITDAおよびフリー・キャッシュ・フローは、会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2023年度第3四半期決算の投資家向けプレゼンテーション（https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/）の末尾にあるAppendixを参照の上、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。